

いのちの言の葉2009

富山県教育委員会 平成21年度いのちのメッセージ発信事業

「菊のいのちを受け継ごう」

射水市立片口小学校 5 学年児童

- ① 平成21年9月11日実施
- ② 平成22年1月22日実施

【いのちの先生】

久々江 清弘先生

・片口地域の菊作り名人



【授業の概要】

- ① 久々江 清弘さん（地域の菊作り名人）から、菊作りを始めた動機や菊作りの喜びなどのお話を伺う。
- ② 菊のいのちを受け継ぐことの大切さを子どもたちに伝えたいと、菊の大鉢6鉢をくださり、5年生全員で菊作りに挑戦し、指導していただきながら、見事な大輪の花を咲かせることに成功した。
- ③ 地域感謝デーに、久々江さんを招待し、日ごろの感謝の気持ちを伝えるとともに、冬期間の菊の栽培の留意点を指導していただいた。

～久々江 清弘さんへ～

私は、菊の花びらは、他の花と違って厚みがあり、満開になるとふわっとした形になるので、とてもきれいだと思いました。それと、菊にはいろいろな種類があることも知りました。

先生から、久々江さんは休みの日も学校に来られて、菊の世話をしてくださっていたと聞きました。菊のいのちを、次の5年生に渡すためにやってくださっていたのだと思います。久々江さんがおられなかったら、菊は私たちの学年で枯れていたかもしれません。久々江さん、本当

～久々江 清弘さんへ～

私は、実際に菊を作るまでは、1回花が咲いたら枯れて終わりだと思っていました。菊作りをした後、この菊は生きていて、来年の5年生が世話をすれば、また花を咲かせると聞いた時、菊のいのちが続くと思ってもいなかったの、とてもびっくりしました。

教頭先生からお聞きしたのですが、久々江さんはいろいろな花を育てられた中で、菊が一番よかったそうですね。私もいつか花をたくさん育てて、自分に合った花を育てたいと思いました。こういう経験ができたのも、片口に久々江さんがいてくださったからです。ありがとうございました。

- ・児童にとってなじみの深い地域の方を「いのちの先生」としてお招きし、菊作りへの思いを聞かせていただいたことにより、その生き方を学ぶよい機会となった。地域の方を誇りに思うとともに、自分たちが地域を担う存在として大切にされ、期待されているという実感が生まれた。
- ・地域感謝デーの際に、本事業について周知し、いのちの先生だけでなく、参観した多くの地域の方にも評価していただき、学校と地域との連携が深まり、信頼感が高まった。

